

募集

親子で楽しくそば打ちに挑戦



お父さんと子どもの そば打ち体験教室

問合せ／生涯学習課（979-1733）

○日時

7月29日（日）9時30分～13時

○場所

西部コミュニティセンター 調理実習室

○講師

太刀川 弘

○対象

町内在住の小学4年生～6年生とその父親（代理可）

○募集組数

10組（申し込み多数の場合は抽選）

○持ち物

エプロン、三角きん、ふきん、そばを持ち帰る入れもの

○参加料

1組1,000円（材料費として徴収）当日

○申込み

7月2日（月）までに、生涯学習課へ電話か窓口でお申し込みください。

募集

町内の学校施設利用者へ



学校体育施設利用団体説明会

問合せ／生涯学習課（979-1733）

学校体育施設を利用するには、説明会に出席し、利用団体としての認定・登録が必要です。希望する団体は申請してください。

○認定期間

8月1日～平成31年3月31日

○対象

町内に在住または在勤者で構成され、定期的な活動がある、用具がそろっている、競技をするに足りる人数を満たしている団体（未成年者のみの団体は対象外）

○説明会日時

7月26日（木）19時～

○場所

函南町文化センター 会議室3

○注意事項

各団体必ず1人以上が説明会に出席してください。説明会に欠席した場合は、認定できません。

○申込み

7月20日（金）までに、申請用紙に記入のうえ、構成員名簿を添えて生涯学習課へお申し込みください。申請用紙は函南町文化センターにあります。

お知らせ

必ず定期検査を受けてください



証明や取引に使う「はかり」は 定期検査が必要です

問合せ／県計量協会（054-278-8308）産業振興課（979-8114）

県では、はかりの定期検査を実施します。定期検査の対象となるはかりをご使用の方は、必ず検査を受けてください。

○検査日時

7月3日（火）9時30分～16時

7月4日（水）9時30分～12時

○場所

函南町役場 駐車場（保健センター北側）

○持ち物

はかり、検査通知はがき、手数料

○対象となるはかり

商店や工場などに取引使用している、薬局などで薬剤調合に使用している、荷物運送業などで荷物の料金を決めている、学校・病院など健康診断書の作成のためのはかりなど

○申請に必要なもの

検査通知が来ない場合や、検査対象のはかりを使用していない場合はお問い合わせください。

お知らせ

補助金制度をご利用ください



雨水浸透施設・ 雨水貯留施設設置費を補助

申込み・問合せ／都市計画課（979-8117）

住宅の屋根に降った雨水を有効に利用して、その流出を抑制するとともに地下水のかん養を図るため、雨水浸透施設または雨水貯留施設を設置する人の費用の一部を補助しています。ぜひご利用ください。

○対象者

町内で敷地面積が1,000㎡未満の居住用住宅（併用住宅、共同住宅を含む）の所有者（建築予定者を含む）

○対象施設および補助金額

- ①雨水浸透施設：
 - ・A型（上限60,000円）・B型（上限50,000円）
- ②雨水貯留施設：
 - ・浄化槽転用型（上限80,000円）・簡易貯留型（上限50,000円）

○その他

施設によって補助金の算出方法が異なります。詳細はお問い合わせください。

お知らせ



子育て交流センター「ミニ水遊び広場」

楽しく水遊びをしましょう

問合せ／子育て交流センター（979-8800）

子どもの体調管理、安全管理に気を付けて遊びましょう。

○期間

7月5日（木）～8月5日（日）

※開催日は子育て交流センター窓口やホームページでご確認ください。（週3回程度実施）

○時間

10時30分～10時45分（15分程度）

※木曜日のみ11時～11時15分

○場所

子育て交流センター ウッドデッキ

○対象

就学前の子どもと保護者

○その他

天候やイベントなどにより中止する場合があります。詳細はお問い合わせください。

お知らせ

高齢者の社会参加と地域の支え合いづくり

地域で支え合い、住み慣れた場所で最期まで自分らしく暮らすために ～函南町地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み24～

問合せ／福祉課（979-8126）社会福祉協議会（978-9288）

あなたの自立体力はどのくらい？

いくつになっても自分のことは自分でするために「起きる・立つ・歩く、着替える、家事をするという基本的な体力」が必要です。この自立体力を測定できる介護予防ボランティアを3人1組で地域に派遣しています。4人以上で自立体力に関心のある皆さんは社会福祉協議会にご相談ください。

社会福祉協議会では生活支援コーディネーターを中心に介護予防ボランティア、生活支援ボランティアを養成してきました。

平成30年度は運転ボランティアを養成します。安全に安心して人と人とのつながりを楽しみながら、ボランティア活動に参加してみたい人は、社会福祉協議会にお問い合わせください。

